



2018年7月13日

各位

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社  
代表者 代表取締役社長 吉丸 弘二朗  
(コード：3316)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 赤木 正人  
(TEL 03-3280-2711)

## 従業員に対する譲渡制限付株式としての自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、譲渡制限付株式として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 処分の概要

(1) 払込期日	2018年9月12日
(2) 処分する株式の種類及び株式数	当社普通株式 3,500株
(3) 処分価額	1株につき859円
(4) 処分価額の総額	3,006,500円
(5) 割当予定先	従業員27名 3,500株

### 2. 処分の目的および理由

当社は、所定の要件を満たす当社の従業員（以下「対象従業員」といいます。）27名に対し、福利厚生の実施の一環として従業員の勤労意欲の向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆様との価値共有を進めることを目的として、金銭債権合計3,006,500円については本自己株式処分として当社の普通株式3,500株（以下「本割当株式」といいます。）を付与することを決議いたしました。これは、対象従業員の職位に応じ、対象従業員1名につきそれぞれ当社株式を100株（1単元）から300株（3単元）までの範囲で単元株式を付与するものです。

対象従業員の大半は20代から30代の若手従業員となりますため、取締役とは異なる制度設計としております。若手従業員にとっては株式を保有して株主となる経験自体が株主の皆様との価値共有につながる一方、様々なライフイベントを迎える世代でもあることを考慮し、譲渡制限期間を短めに設定することが本自己株式処分の目的実現に効果的であるとの判断に立ち、譲渡制限解除時期を2019年12月1日といたしました。

対象従業員は、支給された金銭債権の全部を現物出資財産として払込み、当社が本自己株式処分により割り当てる普通株式を引き受けることとなります。また、当社は、本自己株式処分に伴い、対象従業員との間で、以下の内容をその内容に含む譲渡制限付株式割当契約を締結いたします。

なお、本割当株式は、引受けを希望する対象従業員に対してのみ割り当てることとなります。

#### <譲渡制限付株式割当契約の概要>

##### (1) 譲渡制限期間

対象従業員は、2018年9月12日（払込期日）から2019年12月1日までの間、本割当株式について、譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならない。

(2) 譲渡制限の解除条件

対象従業員が、譲渡制限期間中、継続して、当社の従業員の地位にあったことを条件として、譲渡制限期間満了日において、本割当株式の全部につき、譲渡制限を解除する。ただし、対象従業員が、雇用期間満了（ただし、定年退職後再雇用された場合は当該再雇用期間満了）、死亡その他当社取締役会が正当と認める理由により当社の従業員の地位を喪失した場合、本割当株式の譲渡制限解除について、取締役会で検討の上、決定する。

(3) 当社による無償取得

当社は、譲渡制限期間が満了した時点、又は、譲渡制限期間中に対象従業員が当社の従業員の地位を喪失した直後の時点において、譲渡制限が解除されていない本割当株式を当然に無償で取得する。

(4) 株式の管理

本割当株式は、譲渡制限期間中の譲渡、担保権の設定その他の処分をすることができないよう、譲渡制限期間中は、対象従業員が大和証券株式会社に開設した譲渡制限付株式の専用口座において管理される。

(5) 組織再編等における取扱い

譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画その他の組織再編等に関する事項が当社の株主総会（ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要しない場合においては、当社の取締役会）で承認された場合には、取締役会の決議により、本割当株式の全てにつき、組織再編等効力発生日の前営業日の直前時をもって、これに係る譲渡制限を解除する。

3. 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本自己株式処分は、割当予定先に支給された金銭債権を出資財産として行われるものであり、その払込価額は、恣意性を排除した価格とするため、2018年7月12日（取締役会決議日の前営業日）の東京証券取引所における当社の普通株式の終値である859円としております。これは、取締役会決議日直前の市場株価であり、直近の株価に依拠できないことを示す特段の事情のない状況においては、当社の企業価値を適切に反映した合理的なものであって、対象従業員にとって特に有利な価額には該当しないと考えております。

以 上